

第24回 練馬光が丘病院 運営連絡協議会 議事録

日時：令和6年5月21日（火）13時30分～14時30分

会場：練馬光が丘病院 2階講堂

出席者：高橋委員、関委員、外山委員、沢村委員、やない委員、池尻委員、浅田委員、富田委員、内田委員、光定管理者、平澤事務部長

出席者（Zoom）：今井委員、伊澤委員

議事

光定管理者より、病院の状況について主に以下のとおり説明があった。

新年度に入り職員数が充実し、4月から新たにICUを増床している。

回復期リハビリテーションが開き切れていないが、5月から皮膚科も常勤体制となり充実している。

医事課、田中次長より資料①～⑨について説明があった。

質疑事項

（委員）資料③ 新規がん患者入院件数 昨年度かなり増えているが背景は何か。

（病院）当院としても完結できるがん治療を目指す中で、がん治療に関わる診療科および人員を増やしており、体制の充実に伴って患者数も増えたと思われる。

（委員）資料⑨ 小児救急患者数 6月7月が多い背景は何か。

（病院）区内の小児科の入院施設が当院含め2施設と少ない中で、昨年はRSウイルス等の動きがあった結果と思われる。

（委員）退院時のがん患者の転帰はどうなっているか。社会資源との関係、考え方や体制について。

（病院）概ねの話になるが、早期がんはどこの科・病院も良好である。変わってくるのはステージ3、4のがんで、当院は比較的良い成績で治療していると思っている。課題は緩和ケアに移行した方で、当院は緩和ケアのチームは活発化させているもののベッドがない等もあり、他院との連携に期待している。

(委員) 4月から医師働き方改革で労働時間管理が変わったが、苦勞している点や工夫している点は何か。

(病院) 当院はA水準であり4月から相談体制等を整え運用開始したところである。医師は総合診療に多く配置しているものの、24時間シフト体制となると一層必要となる。今年度、集中治療には多く配置したが総合診療は昨年の体制であり、人員確保等を行わなければならないと考えている。

(委員) 次回以降で良いが、職員数が年度別の数字となっており、患者数が月別の数字となっている。統一してほしい。

(病院) 了解した。

医事課、田中次長より資料⑩について説明があった。

質疑事項

(委員) 診療報酬改定に対する病院の戦略等があれば知りたい。

(病院) 急性期入院の見直しについては当院としては問題なく対応できそうである。救急の下り搬送の促進については練馬区医師会の会議があり対応を検討したところである。急性期のリハビリについては心血管リハ等以前から力を入れており、今回の改定でさらに進むと考えている。

地域連携室 工藤室長より、資料⑪について説明があった。

質疑事項

(委員) 地域連携協力施設登録制度と地域医療ネットワークシステムの内容を教えてください。

(病院) 地域連携協力施設登録制度は、近隣医療機関と連絡を密にして紹介を受けフィードバックしやすくするために行っている。メインエレベータの前に全施設のリストを掲載している。地域医療ネットワークシステム(ICT)は、通常は診療情報提供書のやりとりをするところを、協力施設に電子カルテのある程度の部分を見せることができるシステムで情報共有を行うものであり、東京都も推奨している。

(委員) マイナンバー保険証に対する対応はどうなっているか。

(病院) 電子承認システムは揃えており、診療報酬で改定が出ている点も対応は進んでいる。ただ、実際にあまり使われていない印象がある。

(委員) 重度心身障害の方のショートステイの受入れ状況はどうなっているか。

(病院) 予約制にはなっているが、月単位 10 例ほど対応している。

次回第 25 回は 2024 年 11 月に開催予定とし、閉会とした。

以上